

課題番号：38

課題名		廃炉プロセス「共通項目」 検討対象「 可視化技術（3次元を含む） 」 ※参考：重要研究開発課題「③画期的なアプローチによる放射線計測技術」との関連あり ※参考：重要研究開発課題「⑥廃炉工程で発生する放射性物質の環境中動態評価」との関連あり http://www.dd.ndf.go.jp/jp/decommissioning-research/dr-committee/materials/06/doc1-2.pdf	
ニーズ		望ましい状態とその理由	（参考）関連する研究課題
1	可視化技術を開発したい	●放射線等の測定結果を用いて、線源の強さや線源の方向、分布等の情報を基に線量場や汚染状況等を把握するため、ヴァーチャルリアリティ等を駆使し、可視化技術の開発が望まれる。可視化技術により、汚染場所の特定による効果的な除染や作業員被ばくの低減につながることが期待される。	課題リスト5/12「放射線量可視化による被ばく低減評価技術の開発」